

1 学習活動の実際

(1) 学習指導要領での指導学年と領域

( 2 ) 学年( 上級 ) ( 国語科 )

(2) 単元名 (教材名)

「 敦盛の最期 」( 中学国語2 伝え合う言葉 教育出版 )

(3) 対象生徒の実態 ( 2人)

A	( 2 ) 学年 国籍 (中国) 母語 (朝鮮語) 在籍年数 (2年8か月 )
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の力 日本語の日常会話については問題がない。理解力、漢字力ともに該当学年の学習についていけるレベルには達しているが、専門的な語彙の多い論説文や古典等で、内容が本人のなじみのない分野であるとき、難しさを感じるようである。尊敬語・謙譲語と歴史的仮名遣いは既習だが、復習が必要である。</li> <li>・在籍学級での学習参加の様子 在籍クラスの学習に入る前に、内容の流れや、古典の専門語彙に対するイメージを、具体的に写真等で示すと、在籍クラスの学習にも無理なくついていけるようである。在籍クラスでも発言を行っている。</li> <li>・学習環境 学習意欲はあるが、家庭学習の習慣がついておらず、宿題は忘れがちである。家庭の教育に関する関心も高い。</li> </ul>
B	( 2 ) 学年 国籍 (カザフスタン) 母語 (ロシア語) 在籍年数 (2年8か月 )
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の力 漢字力が弱い、抽象的な事柄を総合して判断する力がある。日常会話については問題がない。抽象的な事柄に関する理解力、漢字力ともに該当学年の平均には達しているが、古典や、国語科での専門語彙に関しては未習のものや、知っていても自分で運用できない語彙がある。尊敬語・謙譲語と歴史的仮名遣いは既習だが、復習が必要である。</li> <li>・在籍学級での学習参加の様子 在籍クラスの学習に入る前に、内容の流れや、古典の専門語彙に対するイメージを具体的に写真等で示すと、在籍クラスの学習にも無理なくついていけるようである。</li> <li>・学習環境 学習意欲も、家庭学習の習慣もついてきた。</li> </ul>

(4) 単元設定の理由とねらい

学生にとってなじみの少ない古典の学習内容について、苦手意識を持たせずに導入する。平家物語の歴史的背景や話の流れ、登場人物の関係、語彙のイメージ等の内容を、ワークシートや図などを用いて具体的にかつ段階的に理解させる。

既習だが使い分けの難しい尊敬語・謙譲語について、及び歴史的仮名遣いについても、もう一度確認する。

本時では導入としての先取り学習を行い、ある程度の中身を把握した上で、在籍学級の学習に無理なく参加できるよう指導を行う。

(5) 目標

○国語科の目標 「敦盛の最期」の背景と話の流れを把握できる。 歴史的仮名遣いについて理解できる。
○日本語指導の目標 下記の表現を習得して意味を正しく理解することができる。 おVになる・申す・おっしゃる（謙譲語・尊敬語の復習）

(6) 指導者

教科担任（国語）在籍クラス担当、日本語指導担当
-------------------------

(7) 学習活動（全体の時間数 5時間 本時は第一時間目）

- 一時間目 導入 大まかな内容と語彙、時代背景の理解、 歴史的仮名遣い 取出
- 二時間目 学習材の読み取り 1 音読 在籍クラス
- 三時間目 学習材の読み取り 2 内容読解 在籍クラス
- 四時間目 在籍クラスの授業の復習 取り出し
- 五時間目 学習のまとめ 在籍クラス

学習活動	活動形態	有効だった支援（◇学習活動への参加をうながす支援） （◆日本語の理解や表現をうながす支援）
① <sup>くわ</sup> 鍬形等の鎧・この時代の合戦のやり方等、時代背景に注目させる。	取り出し	◇時代背景をつかませ、内容に興味を持たせる。 ◆（学習漫画の図解を示しながら、）見たことがあるか、名前は何かを確認する。
②先ほどの図解で見た知識を確かめる。		◇画像（教科書 p,23 よりスキャナで取り込んだ画像を拡大し、パワーポイントに取り込んだもの）を示しながら、先ほどの知識を用いて登場人物について予想させる。 ◆ここはどこか、どんな場面か、身分が高いのはどちらかを画像によって確認する。
③教科書の解説を読む。		◇p,20 *部分の、教科書の解説を読ませる。 ◆ワークシートに人物の関係を書きこませて、おおまかな関係と場面をつかむ。 ◇現代訳を音読させる。
④音読する。		◆若武者の姿はどんな姿か、本文中から抜き出して、ワークシートに書き込む。

学習活動	活動形態	有効だった支援（◇学習活動への参加をうながす支援） （◆日本語の理解や表現をうながす支援）
<p>⑤謙譲語・尊敬語をおさえる。</p> <p>⑥内容について把握する。</p> <p>⑦歴史的仮名遣いについておさえる。</p>	<p>取り出し</p>	<p>◇若武者は、熊谷に何と尋ねたか、謙譲語・尊敬語に注意しながら、身分の違い等の人間関係をつかむ。 ◆「おVになる・申す・おっしゃる」等の謙譲語・尊敬語について理解する。</p> <p>◇場面ごとに、ワークシートを用いて細かく内容を把握させる。 ◆予想できるところは自分で予想しながら、本文中の言葉をワークシートに書き込んで内容のまとめとする。</p> <p>◇歴史的仮名遣いの穴埋めワークシートを用いて、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いにできるか細かくチェックする。 ◆間違ったところは歴史的仮名遣いの法則をもう一度振り返る。このワークシートは本時以外でも繰り返しやらせ、歴史的仮名遣いの苦手意識をできるだけ持たせないようにする。</p>

#### (8) 教材・教具

国語教科書、ノートパソコン、パワーポイント、  
監修 児玉幸多（1982）小学館版学習漫画6 少女少女日本の歴史 源平の戦い  
（図解ページ）p.132-135

#### (9) ワークシート（使用する前の見本・生徒の作品等も添付）

後に添付

## 2 成果

① 対象生徒 およその話の流れと場面状況を、先取り学習で理解してから在籍クラスの学習に移ることができたので、不安なく在籍クラスの授業に参加することができた。

## 3 課題

○古典を勉強するに際して、滞在年数の短い外国人の学生には、昔の難しい言葉という先入観がまずあり、時代背景や語彙を容易にイメージできず、苦手意識があったようである。  
本時では学生が受身の姿勢に終始していたので、今後は、どのように、未習の概念を学習していけば良いか、学生が自発的に模索していけるような力を身につけさせたい。